

湯ノ丸山(ゆのまるやま2,101m)



今年はツツジを楽しむ山行に恵まれていたが、その最後を彩るのはレンゲツツジということで今回は湯ノ丸山へ。一方、今月7日に梅雨入りしていたが16日からは一転して猛暑日となり、今日は今年最高の暑さが予想されている。そうしたなか今回はゲストの麻生島、村山、中野、内野、田中、増尾、織田、飯田の皆さんを含め23名の参加。バスは25人乗りでドライバーは山本さん
◆バスは小諸ICで高速を下り、県道東御孺恋線を喘ぎながら登って地蔵峠へ。身支度を整えスキー場脇に沿って登り始めると、ハルゼミが合唱する中さっそく満開のレンゲツツジが歓迎してくれた。メンバーの「きれいだね～」の声があがり、今日は一日中この花が付き添ってくれる◆一汗かいてスキー場を登り切るとツツジ平となり、ツツジの群生地が広がる。以前は牛が放牧されていたが、今回は牛を見かけなかった。周辺はツツジのほかにズミや

サラサドウダンも開花中。鐘分岐で鐘を鳴らした後は、湯ノ丸山への登りとなる。低木林がつづくが、幸い薄曇りで強い日差しを和らげてくれるのがありがたい。しばらく登ったところで伊藤さんが蕾をつけたミヤマハンショウヅルを見つけ、珍しさもあって人だかりができていた◆1時間ほどして山頂へ。ここで昼食となるが、その前にイワカガミの咲く尾根道を北峰まで往復する。昼食を済ませた後は山を下り烏帽子岳に向かう。しかし今回は烏帽子岳へはとりやめることになり、鞍部から下山することになった。鞍部からは湯ノ丸山の巻道を通ってバスの待つ地蔵峠へ。峠ではロッジ花紋のソフトクリームが人気でよく売れていた◆帰りのバスは道の駅「くるみの里雷電」に立ち寄る。そこではじりじりする強い日差しが照り付け、湯ノ丸山にかかっていた薄雲のありがたみがよくわかった。なおこの薄雲のために湯ノ丸山頂からの遠望はきかず、浅間山、四阿山もぼんやり程度だった。本来なら北アルプスも見えるはずだが、その展望は2017年6月の記録を見て下さい。(南雲記)



北市民セ6:00→鶴ヶ島IC6:15→横川SA7:20(休10)→小諸IC8:00→地蔵峠8:45着9:00発→ツツジ平9:30→鐘分岐9:40→湯ノ丸山山頂11:00着(北峰往復、昼食)12:00発→鞍部12:35→地蔵峠13:40着14:00バス発→道の駅雷電14:30着15:00発→小諸IC15:10→上里PA16:15(休15)→鶴ヶ島IC17:00→北市民セ17:15 @3,500